

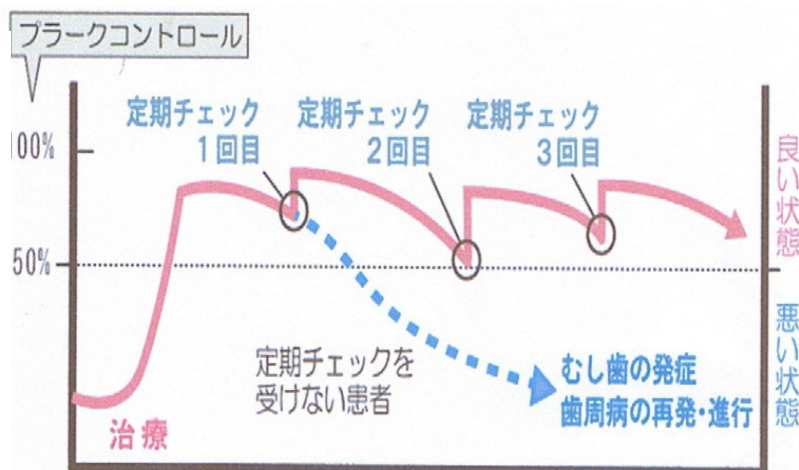


本康歯科ニュース



「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！！

虫歯や歯周病の原因となるフ
ラーク(歯垢)は歯に付いているもの
を一度除去しても、2~3ヶ月
でもとの状態にもどってしまいま
す。特に歯周病の方は、症状が
改善しても少し放置していると
すぐに悪化しやすく、元の状態を
回復するのは大変です。定期チェ
ック時にフラーク・歯石を除去す
るプロフェッショナルケアを受け
て、虫歯や歯周病の発症や進
行・再発を予防しましょう。



(ラタイチャークより引用変形)

夏期休暇のお知らせ！！

まことに勝手ながら、

8月14.15.16日と夏期休暇をとらせていただきます。

ご理解のほどよろしくお願い致します

おもしろ歯科情報

“入れ歯”でアフリカの子どもたちにきれいな水を！

国土の3分の2が砂漠で、日中の温度が50℃を超える灼熱と砂嵐の中、深刻な水不足のために不衛生な水を飲んで命を落とす子どもも少なくない、そんな過酷な状況にある“西アフリカのマリ共和国”に、使わなくなった入れ歯を集めて井戸を贈ろうとしている市民団体があります。

その活動を行っているのは大阪市のNPO法人「不要入れ歯回収サービスセンター」で、昨年の2月から7人の主婦が中心となって設立されました。

同法人の理事長を務める酒井悦子さんは、若い頃から海外支援活動に携わってきたそうですが、この不要入れ歯回収サービスセンターを設立した動機として、「不衛生な水を飲んで命を落としていくマリ共和国の子供たちのニュースを見て、いても立ってもいられなくなってしまった」そうです。

そして、「何をすればマリの子どもたちを救うことが出来るのか？」皆で知恵を出し合い、情報を集めるうちに、パラジウム

などの金属を含んだ“入れ歯”が半導体などのリサイクル原料として重宝されていることを知り、入れ歯を回収してリサイクルすれば「手押しポンプ式の井戸」を購入する資金に充てられることを知ったそうです。

この手押しポンプ式井戸1基の設置費用は“123万円”。これは不要入れ歯“約500個”分に相当する金額だそうです。設立後、酒井さん達は商店街や福祉施設などに「入れ歯回収ボックス」の設置をお願いして回っていて、徐々に協力してくれる所も増え、マリの子どもたちが新鮮な水を安心して飲めることを夢見て頑張っています！

同法人は全国の皆様からも使わなくなった入れ歯を集めています。「不要入れ歯回収」にご協力される方は、不要になった入れ歯を熱湯消毒して新聞紙に包み、ビニール袋に入れ封筒で、〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目4-8-102までお送り下さい。ご不明な点は☎0120-936-108「不要入れ歯回収サービスセンター」までお問い合わせ下さい。